

東京工業大学 女子高校生向け広報誌制作に関するコンペティション開催について

東京工業大学男女共同参画推進センター(GEC:Gender Equality Center)では、女子高校生向け広報誌制作のため、制作依頼先を決定するコンペティションを開催します。参加ご希望の方は、下記公募要領をご確認のうえお申込み下さい。

公 募 要 領

一 事業名

広報誌「女子高校生向け冊子」(仮称)の企画および制作

二 事業の目的

理系を選択する女子高校生は増えてきたが、理学工学系分野における女子学生割合の伸びは緩やかである。この理由のひとつに、理学部・工学部は、医学部などの職業資格に直結した学部と異なっており、大学での教育・研究が社会や仕事とどのようにつながり、どのような力が身につく、卒業後はどのようなキャリアを歩んでいくのか、女性のロールモデルや情報が少なく、具体的な姿や全体像をイメージしにくいことがあげられる。

そこで、本学の女子学生および女性卒業生に関する情報を素材として、女子高校生が進路を選択するときに参考となる広報誌を作成する。この広報誌により、本学の教育・研究環境やその後のキャリアの特色等を適切にわかりやすく魅力的に紹介し、本学への進学意欲を高めてもらう。

三 事業内容

1. 依頼する業務

- (1) スケジュール作成および次の(2)~(8)の制作業務全般の管理
- (2) 全体構成(台割)の作成
- (3) 広報誌名を含む表紙および本文全般にわたるデザインの作成(デザイン案は複数)
- (4) 原稿・タイトル・キャッチコピーの作成およびリライト
- (5) 図表(写真含む)の新規作成およびリデザイン
- (6) レイアウト作業
- (7) 校正
- (8) 版下データファイル等の作成

2. 広報誌の概要

- (1) 広報誌名
受注者が案を作成し、発注者と協議のうえ決定する。
- (2) 対象
主として女子の高校生・学部受験生。次に、その保護者・高校教員。

(3) 発行時期・方法

平成 27 年 5 月（予定）に冊子として印刷製本し、オープンキャンパス（平成 26 年度は 5 月と 8 月）や学内外での高校生向けセミナー・イベント・大学説明会等で配布するほか、高校へ送付する。

東工大のホームページ（「高校生・受験生向けサイト」等）に pdf 形式または素材データを組み合わせて掲載することも予定している。

(4) 仕様

A 4 判、中綴じ、カラー印刷、表紙含めて 12～20 ページを想定しているが、これ以外の提案も可能である。ただし、運搬・封入・配布など取扱いのとき、冊子をコピーするときや pdf 版をプリントするときに不便にならないよう配慮すること、および印刷製本にかかるコストに配慮すること。

受注者が仕様案を作成し、発注者と協議のうえ決定する。

(5) 誌面構成

受注者が全体構成(台割)案を作成し、発注者と協議のうえ決定する。

3. 編集方針

- ・女子の高校生・受験生を対象としていることが伝わり、その対象者が手に取って読みたくなるようなものであること。
- ・女子学生が、在学中に高度な教育・研究の機会等を得て力をつけ、卒業後はその環境で学んだこと等をキャリア形成に活かしていることが読者に伝わるものであること。
- ・画像や文章だけでなく、データでも魅力を示す。特に、「東工大女子学生の卒業・修了後の動向に関するアンケート」(<http://www.gec.jim.titech.ac.jp/about/enquete2.html>)の結果を活用する。必要なアンケートデータは GEC より提供する。
- ・発行から 3～4 年間は配布に耐える内容とする。特に、平成 28 年 4 月から「東京工業大学教育改革」(<http://www.titech.ac.jp/news/2014/028056.html>)により教育システムが変わるため、これによる変更にも対応しうる内容とする。

4. 納品物

次の①～③を CD-ROM 等で納品する。

- ① 版下データファイル (Adobe In Design CS 4 以上)
- ② PDF データファイル
- ③ 素材データファイル (制作に用いた写真やイラスト、ロゴ等の画像の元データ。JPEG または PSD 形式。)

四 予算額(上限)

税込 250 万円以内

コンペ終了後、第一順位から契約交渉を行う。その際、再度見積書を提出するものとする。

五 納期

平成 27 年 3 月 31 日(火)

六 応募資格(対象者及び資格要件)

- ① 契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者でないこと
- ② 国立大学法人東京工業大学における物品購入契約に係る取引停止の取扱要項により契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと

七 企画提案書に関する事項(記載すべき内容、提出方法、提出期間等)

1. 事前説明会

平成 26 年 12 月 16 日(火)16 時に大岡山キャンパスにて事前説明会を実施する。事前説明会参加希望の場合は、平成 26 年 12 月 15 日(月)正午までに以下の5の問合せ先まで、メールにて連絡すること。事前説明会の詳細は追って事前説明会参加希望対象者に連絡する。

2. 本企画競争(コンペティション)参加の申込方法

平成 26 年 12 月 25 日(木)17:00 までに、下記5の問合せ先まで、コンペティション参加希望の旨をメールにて連絡すること。

3. 提出書類

①コンペティション課題

- (1) 新しい誌名案を含む表紙イメージ案
 - (2) 全体のページ構成(台割)案
 - (3) 中堅層ロールモデルを含む見開きページのデザイン案(表/グラフを1つ以上レイアウトする)
- 別紙「女子高校生向け広報誌 想定コンテンツ」を参考にすること。

②制作体制を示すもの(制作にかかわるスタッフについて、これまでの仕事歴、作品を示す)

アートディレクター／デザイナー、カメラマン、ライター、校正、編集ならびに管理スタッフ

③会社概要、実績

④製作費見積書

※提出書類の作成及び提出にかかる経費は、提案者の負担とする。

※提出書類は、返却しない。

4. 書類提出方法

平成 27 年 1 月 5 日(月)午前 10 時(必着)までに、下記5の問合せ先まで、上記3の提出書類 12 部及び電子媒体を提出すること。なお、郵送の場合は、必ず簡易書留、宅配便等配達記録が残る形で送付すること。

5. 問合せ先

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 S6-2(南 6 号館 4 階 406A 号室)

東京工業大学男女共同参画推進センター 担当:三石

E-mail: mandw@jim.titech.ac.jp

電話: 03-5734-7617 * 土日祝日および冬季休業(12 月 29 日～1 月 3 日)を除く

八 提案の審査に関する事項(審査方法、審査基準、審査結果の通知方法等)

1. 第一次審査(書類審査)

応募者多数の場合は、事前に送付された資料をもとに第一次審査を行い、コンペティション参加者を決定する。この場合、平成 27 年 1 月 7 日(水)までに審査結果をメールにて連絡する。

2. 第二次審査(コンペティション)

コンペティション課題について次のとおりプレゼンテーションを行う。審査結果は、平成 27 年 1 月 15 日(木)までにメールにて連絡する。

- ・開催時期、場所(具体的な場所は、第一次審査通過者に別途連絡)

平成 27 年 1 月 8 日(木) 15 時より 東京工業大学大岡山キャンパス

- ・大学側出席人数 10 名前後

- ・プレゼンテーション時間・参加人数

1 社 20 分(課題に対する説明等 10 分、質疑応答 10 分)

参加人数は、1 社あたり企画責任者を含めて最大 3 名とする。

3. 審査基準

主に、企画への理解、コンペティション課題、制作(サポート)体制、実績、総合力について、審査委員会による書類審査、プレゼンテーションの審査を経て、交渉権者を決定する。

「企画への理解」は企画の意図を汲みとり、趣旨に沿った内容となっているかを評価する。「コンペティション課題」は、対象者(女子高校生)側から、および大学側からの2つ視点に立って、企画力・デザイン力について評価する。「制作(サポート)体制」は、妥当な体制(人員およびそのスキルや専門性)となっているか、プロジェクト進行が滞りなく行えるか、取材の依頼などに柔軟に対応できる体制かどうかを中心に評価する。「実績」は、広報誌に係る、担当者と会社の実績を評価する。「総合力」は、全体でどのような印象を与えたかを評価する。

九 契約の締結に関する事項

契約交渉の結果、契約の相手方として決定した場合、契約書を作成するものとする。

十 著作権に関する事項

本誌の著作権については、原則として本学に帰属するものとする。受注者は、著作権人格権においてはこれを行使しないものとする。

「女子高校生向け広報誌 想定コンテンツ」

- ・(*)印について 実在のモデルを立てて原稿・写真を取るか、イラストで標準的なモデルケースを示すか、既存コンテンツの再利用など手法の指定はなく、提案可能。
- ・広報誌の構成はこの順番である必要はない。
- ・下記表のコンテンツ1コマに対して1頁ということではなく、盛り込みたい要素を表示したものである。ボリュームの大小は提案可能。
- ・「女性卒業生アンケート」データは現在、次のサイトで公表している。広報誌制作時には、このほか必要なデータを提供する。
<http://www.gec.jim.titech.ac.jp/about/enquete2.html>

内容	備考
・表紙	・広報誌名案など
・導入部	・別途相談
・授業中心の大学生活（主に学部1～3年生ロールモデル*）	・主に学部1～3年生の女子学生の大学生活を紹介。（学業面では、研究室にはまだ所属せず、講義、実験・実習が中心となる）
・学部生向け各種プログラム	・この時期に提供されている教育等のプログラムを簡単に紹介。
・研究室に所属すると・・・（学部4年～修士課程ロールモデル*）	・研究室に所属して研究が中心となる、主に学部4年生～修士の女子学生の大学生活を紹介。
・研究環境・設備	・研究環境・設備を簡単に紹介。
・研究者を目指して・・・（博士課程ロールモデル*）	・博士課程の、本格的に研究者を目指す女子学生の大学生活を紹介
・博士課程学生向け各種プログラム	・博士課程向けのプログラムを簡単に紹介
・新卒のとき（20代卒業生のロールモデル*）	・20代の女性卒業生*を紹介 ・新卒時の職種、業種などのデータを提供
・東工大に入ってよかったこと	・女性卒業生アンケートから「東工大に入ってよかったこと」のコメントの中から新卒時に役立ったことを紹介
・離職・転職の状況	・女性卒業生アンケートから、転職・離職に関するデータを提供
・東工大に入ってよかったこと	・女性卒業生アンケートから「東工大に入ってよかったこと」のコメントの中から離職・転職時に役立ったことを紹介
・現在の状況（中堅層のロールモデル*）	・中堅（35～50歳位を想定。仕事や家庭も概ね将来設計が見えてきた頃。）の女性卒業生*を紹介 ・女性卒業生アンケートから、仕事の継続状況、現在の職種、業種、職階などのデータを提供。
・東工大に入ってよかったこと	・女性卒業生アンケートの「東工大に入ってよかったこと」のコメントの中から現在役立っていることを紹介

・現在の状況（ベテラン層のロールモデル*） ・東工大に入ってよかったこと	・ベテラン（50歳以降を想定。）の女性卒業生*を紹介 ・女性卒業生アンケートから、仕事の継続状況、現在の職種、業種、職階などのデータを提供。 ・女性卒業生アンケートの「東工大に入ってよかったこと」のコメントの中から現在役立っていることを紹介
・男子学生・男性教員が登場する内容	例：座談会／テーマを決めて男子学生・男性教員から寄稿してもらう／など
・キャンパスライフデータ／女性卒業生のキャリアに関するデータ	・キャンパスライフや、女性卒業生のキャリアに関するデータを提供。
・Q&A	・女子高校生からよくある質問およびその回答。基本的に原稿を提供。
・挨拶	・学長から女子高校生に向けたメッセージ。基本的に原稿・写真を提供。 ・女性の教育について大学としての方針や方向性を盛り込む予定だが、扱いは契約後に別途相談。
・保護者・高校教員向けに、現在の理工系大学（特に本学）の就職状況やキャリアに関して（特に女子）、紹介・説明するコラム	・基本的に原稿・執筆者写真を提供。
・発行者、連絡先など	